




| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------------------|---|--|---|--|--|---|--|---|--|---|---|--------------------------------------|
| 子ども達に願うこと | ・運動遊びに興味を持ち、楽しんで行う。 | 運動遊びを楽しみながら上手にできなくても進んで取り組もうとする。 | ・一つ一つの動きのポイントを確認しながら行う。 | ・片足くまん同時に手を付く。 ・年長児や友達の様子に気付く。 | ・自分の利き足の把握、確認。 ・跳び箱、手をそろえて跳ぶ。 | ・年長児の姿に気付き、やってみようとする。 ・運動会への期待を持つ。 | ・年長児の姿に憧れ、運動会への期待を持つ。 | ・色々な動きに積極的に挑戦する。 ・保育士の補助で安心して行う。 | ・色々な動きに積極的に挑戦する。 ・一つ一つの動きのポイントを意識して行う。 | ・一つ一つの動きのポイントを意識して行う。 ・年長児の様子に気付き、憧れの気持ちや来年への期待を持つ。 | ・一つ一つの動きのポイントを意識して行う。 ・年長児の姿に憧れ、来年への期待を持つ。 | ・年長になることへの期待を持ちながら、自信を持って体を動かす。 |
| 廊下 ホール リズム室 | ①くまん歩き片足くまん、わにさん、カンガルー跳びを行き帰りに行う ②膝に帽子を挟んでカンガルー跳びをする | ①② ③移動する時に行う(わにさん)  | ①②③ ④廊下に線路(くまん歩き、片足くまん)  | ①②③④ ⑤廊下にカンガルー跳びの線  | ①③④⑤ ⑥サーキット遊び(跳び箱、鉄棒、側転、エアマット) | ①②③④⑤⑥ | ①②③④⑤⑥ | ①②③④⑤⑥ ⑦リズム室で運動遊びをやる時間を作る | ①②③④⑤⑥⑦ ⑧くもの巣 ⑨うしがえる跳びを遊びの中で行う | ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ ⑩体操後に全員で行う | ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ | ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ |
| 保育室 | ①ジャンケンゲーム | ① | ① | ① ②くもの巣(側転、わにさん) ③線路2ヶ所(くまんさん、片足くまんさん) | ①②③  | ①②③ | ①②③ | ①②③ | ①②③ ④床にテープを貼る(カンガルージャンプ) | ①②③④ | ①②③④ | ①②③④ |
| 園庭 | ①園庭への移動をカンガルーで  | ① | ① | ① ②鉄棒 | ①② | ①② | ①② | ①② | ①② | ①② | ①② | ①② |
| 配慮保育士の関わり | ・毎日の活動の中に取り入れる。 ・活動と活動の合間や、手遊びとしてジャンケンゲームを行う。 ・ゲーム感覚で楽しんで行うようにする。 | ・わに歩きでは足を使わず、腕に力を入れて行うよう声掛けする。 ・やり方がわからない子には、実際に足や膝に触れて伝えるようにした。 | ・楽しんで行えるように、様子を見守りながら「膝をつけること」を重点的に声をかける。 ・「片足くまん名人」と名づけ楽しみながら行うようにする ・保育士が実際にやってみせる。 | ・個人差に配慮し、一人一人が目標を持って「〇〇ちゃんは何秒にする?」、「今日は何秒に挑戦してみようか?」などと声かけをする。 | ・廊下の線路では時々動きを指定して行う。 ・上手にできている人に手本をしてみもらったり、発表したりする。 ・年長児の様子をよく見たり、一緒にやったりする。 | ・年長児の様子を見ながら、楽しんでできるようにした。 ・遊びの中で行えるようにした。 | ・年長児の練習の様子を見たり、一緒に遊んだりして、上手な子のようにした。 ・遊びの中でも、うしがえるをして遊ぶ。 ・ゴムの位置を低くし動きが確実にできるようにした。 | ・クラスで作る時間などを作って全体で行うようにしてみる。 ・できない子には、個別に声をかけてやるようにし、できた時の満足感や達成感を感じられるようにした。 ・上手にできるポイントを知らせる。 | ・廊下などで子ども達がやっているときは「おひざのり取れないようにね」などと声をかけ子ども達が意識できるようにする。 ・いろいろな場所でやってる子どもの様子を捉え、声をかける。 | ・一生懸命やっている姿を十分に褒め、子ども達が意欲的に取り組めるようにする。 ・ゴムに意識がいくようにこまめに声をかけながら行う。 ・上手な子にお手本になってもらう。 | ・参観日で一年間の成果を保護者の方に見てもらおう。 ・柳澤先生に親子でできる運動を教えたいいただく。 | ・いつでも体を動かせる環境をつくり、遊んで楽しみながらできるようにする。 |
| 子どもの変化 | ・子ども達が自ら、廊下でわにになって動いていた。 | ・毎日の生活の中に運動遊びがあるので、遊びながら体を動かすことを楽しんでいる。 | ・少しずつ動き方がわかるようになってきて、丁寧に行動しようとしている。 | ・年長児のやっている様子をよく見るようになり、真似をしたり挑戦したりし、意欲がさらに沸いてきた。 ・生活の中で楽しんでいる。 | ・廊下に線路があることで、毎日進んでチャレンジしていた。 ・毎日の繰り返しでうしがえるの手が揃えられるようになってきた。 | ・やってみようという気持ちが大きくなる。年長児のようにできないが、動くことを楽しんでいる姿が見られた。 | ・できるようになると、嬉しくて何回もやるようになり、自信もついてきた。 | ・少しでもできると喜び、自信を持って取り組んでいる。 ・できないからできるようになりたいと、前向きな姿勢でやってる。 | ・できない子もいるが運動をすることへの自信がつき、友達の様子を見てできるようになりたいという気持ちが持っている。 | ・友達同士で教えあったり、いいところを褒めあったりする姿がある。友達に褒められたことが自信につながる。 | ・お家の方に見てもらおうと嬉しく、自信にもつながり、より動くことが楽しくなってきた。 | ・体を動かすことの楽しさが分かり、年長になることへの期待が高まっている。 |